

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター

宮崎県健康増進課

宮崎県衛生環境研究所

## ■ 宮崎県第31週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は 670 人（定点あたり 21.1）で、前週比 94%と減少した。

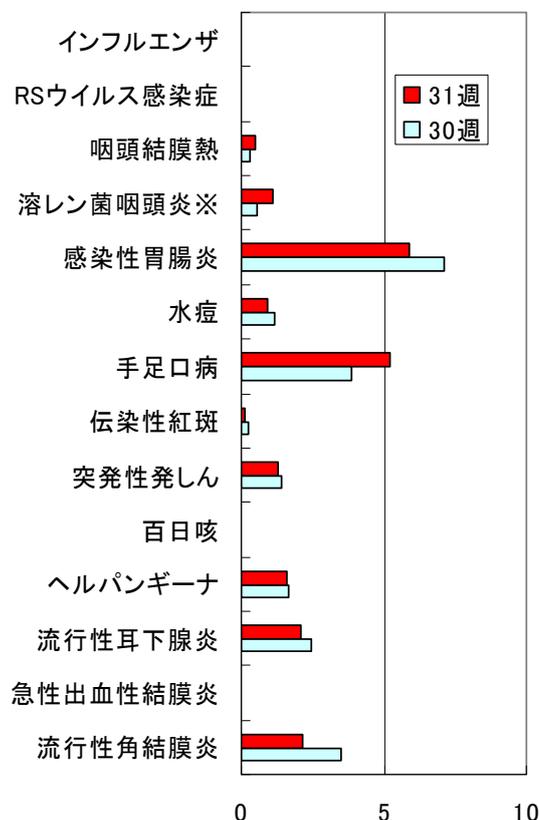
先週に比べ多かった主な疾患は手足口病で、減少した主な疾患は流行性耳下腺炎と感染性胃腸炎であった。

手足口病の報告数は 182 人（5.2）で前週比 135%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（2.2）の約 2.4 倍と多い。日向（13.3）、都城（6.4）、高鍋（6.3）、延岡（5.0）保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では 1 歳から 3 歳で全体の約 7 割を占めた。

流行性耳下腺炎の報告数は 72 人（2.1）で前週比 84%と減少したが、例年同時期の定点あたり平均値（1.7）の約 1.2 倍と多い。延岡（8.8）、日向（6.0）保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では 2 歳から 6 歳で全体の約 8 割を占めた。

無菌性髄膜炎 1 人が宮崎市保健所から報告された。患者は 1 ヶ月の男児。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》  
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## ■ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年 齢 分 布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
手足口病	5	5.2	日向(13.3)、都城(6.4)、高鍋(6.3)、延岡(5.0)	1歳～3歳で全体の約7割を占めた。
流行性耳下腺炎	6	2.1	延岡(8.8)、日向(6.0)	2歳～6歳で全体の約8割を占めた。

## ■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 3 例が宮崎市・都城・小林（各 1 例）保健所から報告された。  
《宮崎市保健所》・80 歳代の男性で疑似症患者。胸水がみられた。  
《都城保健所》・40 歳代の女性で無症状病原体保有者。  
《小林保健所》・70 歳代の女性で疑似症患者。咳、痰がみられた。
- 3 類感染症 : 報告なし。
- 4 類感染症 : 日本紅斑熱 1 例が日南保健所から報告された。70 歳代の女性で発熱、発疹がみられた。
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 1 例が都城保健所から報告された。30 歳代の男性で腸管アメーバ症。下痢、粘血便、腹痛がみられた。

## ■ 全国第 30 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 15.6 で、前週比 92%であった。今週増加した主な疾患は流行性耳下腺炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はヘルパンギーナと手足口病であった。

流行性耳下腺炎の報告数は 4,399 人 (1.5) で、前週比 112%と増加した。例年同時期の約 1.5 倍である。福島県 (3.6)、山口県 (3.3)、和歌山県 (3.1) からの報告が多く、年齢別では 3 歳から 6 歳で全体の約 6 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 9,009 人 (3.0) で、前週比 108%と増加した。例年同時期とほぼ同数である。宮崎県 (7.1)、大分県 (7.0)、福井県 (5.2) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 3 歳で全体の約 4 割を占めた。

## □ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 285 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 1 例、腸管出血性大腸菌感染症 129 例
- 4 類感染症 : A型肝炎 4 例、つつが虫病 1 例、デング熱 4 例、日本紅斑熱 2 例、マラリア 1 例、レジオネラ症 26 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 11 例、ウイルス性肝炎 1 例、急性脳炎 1 例、クリプトスポリジウム症 1 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 5 例、後天性免疫不全症候群 17 例、梅毒 9 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 3 例、風疹 1 例、麻しん 6 例

## 宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2010年 第31週(08月02日～08月08日)

疾病名		第30週	第31週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1										
	定点あたり	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	3										
	定点あたり	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	12	17	5	4		3	1	2		2	
	定点あたり	0.33	0.49	0.50	0.80	0.00	1.00	0.33	0.50	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	19	38	11	2	18			2		4	1
	定点あたり	0.53	1.09	1.10	0.40	4.50	0.00	0.00	0.50	0.00	1.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	256	207	42	42	19	19	38	15	1	30	1
	定点あたり	7.11	5.91	4.20	8.40	4.75	6.33	12.67	3.75	1.00	7.50	1.00
水痘	報告数	42	33	10	7	3	1		2	3	4	3
	定点あたり	1.17	0.94	1.00	1.40	0.75	0.33	0.00	0.50	3.00	1.00	3.00
手足口病	報告数	139	182	37	32	20	9	4	25	2	53	
	定点あたり	3.86	5.20	3.70	6.40	5.00	3.00	1.33	6.25	2.00	13.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	8	5		3			1	1			
	定点あたり	0.22	0.14	0.00	0.60	0.00	0.00	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	51	46	14	6	8	4	4	6		4	
	定点あたり	1.42	1.31	1.40	1.20	2.00	1.33	1.33	1.50	0.00	1.00	0.00
百日咳	報告数		1						1			
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	59	55	6	3	13	10	1	2		18	2
	定点あたり	1.64	1.57	0.60	0.60	3.25	3.33	0.33	0.50	0.00	4.50	2.00
流行性耳下腺炎	報告数	88	72	6	4	35	1	2			24	
	定点あたり	2.44	2.06	0.60	0.80	8.75	0.33	0.67	0.00	0.00	6.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
流行性角結膜炎	報告数	21	13	11	2							
	定点あたり	3.50	2.17	3.67	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

## ●全数把握対象疾患累積報告数(2010年第1週～第31週)

2類感染症	結核	117例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	28例				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	3例	つつが虫病	1例
	日本紅斑熱	1例(1)	マラリア	2例	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例(1)	ウイルス性肝炎	7例	急性脳炎	6例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	3例	梅毒	5例
	破傷風	3例	麻しん	1例		

( )内は今週届出分、再掲

こども感染症情報

**手足口病が増えています。(8月2日～8月8日)**

手足口病の報告数は 4 週続けて減少していましたが、今週再び増加し、警報レベルを超えています。過去 5 年間の同じ時期と比べると 2 番目に多い報告数となっており、年齢別では、1 歳から 3 歳の子どもたちが多くかかっています。

手足口病は手のひらや、足の裏、口の中、お尻などに白っぽい水ぶくれができます。水ぶくれは破れることはなく、しばらくすると乾燥し消えてしまいます。口の中にできた水ぶくれは痛みがあり、食欲がなくなることもありますので、軟らかく薄味で刺激の少ない食事を与えましょう。熱が出ることもありますが、ふつう 1～3 日くらいで治まります。高熱が出たときは、まれに髄膜炎や脳炎などの重い合併症のおそれがありますのですぐに医療機関を受診しましょう。

症状は 1 週間ほどで回復しますが、ウイルスは主にお腹（腸管）の中で増え、1 週間から 1 カ月ほど糞便中に出て、手を介して口からうつります。トイレの後やおむつを交換した後、外出から帰った時は、石けんでの手洗いとうがいの習慣を付けましょう。

また、おたふくかぜが延岡市、日向市周辺で流行しているので注意しましょう。